

寫

陸軍總務部長殿

陸軍部第二二〇號ノニ

昭和二十一年四月一日

四月二日送付

長官

總務部長

接務課長

第二以員入出官房

船 部 長 殿

大府地方復興局副局長

供託長壽袖充ニ關スル件照會

舊部備用及輸送關係船舶供用トシテ別綴物件採集又ハ購買ニ關シ
地方支離取消相煩度

進前加給所級級數ハ必要最少限ニ有之

(別 紙 參 一)

為悉付先 大府地方復興局總務課長

大府地方復興局船務課長

積、矣、任、耳、陸軍海軍部長

「終」

0233

海 軍

電氣、通信、航海備品

備品部

品名	数量	現在庫数	補充数量 (補充要ハ購買)	配
電氣機付線 一五〇〇V W	●	一	五	
直流電機用電機用	●	〇	五	
交流電機用	●	〇	五	
交流電機用	●	〇	五	
導線試験機	●	〇	五	
絶縁試験機小型二三四V	●	〇	五	
電路制御機小型	●	〇	五〇	
安全開閉器	●	〇	三〇	
ベ ン チ	●	〇	三〇	
九八式 無線機	●	〇	五	

海軍

0234

海軍

コ	ビ 二式	ビ 一式	エ 分式	エ 一式	エ 受式	エ 受式	九 六式	七 借	毎 日捲	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	要 具 共 計
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五、 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇	二 〇 〇 〇	二 〇 〇 〇	二 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇	五 〇 〇 〇
(外 綿 用)	(重 内 用)										

0235

海
軍

艦 用 電 點 線	國 外 船 （ 三 級 入 ）	三 號 書 庫 池 三 級	船 艇 機 對 候
米	。	。	圓
○	○	○	○
一 〇 〇 〇 〇	二 〇	六 〇	五

0236

電氣・通信・航海関係
消耗品ノ部

品名	数量	現在庫数	備考
五式 二〇〇電球一〇〇	個	一五九	一、〇〇〇
五式 四〇〇電球一〇〇	個	一三一	五、〇〇〇
五式 六〇〇電球一〇〇	個	一六七	五、〇〇〇
五式 一〇〇電球一〇〇	個	〇	二、〇〇〇
五式 二〇〇電球一〇〇	個	二二二	二、〇〇〇
五式 三〇〇電球一〇〇	個	七	一、〇〇〇
五式 五〇〇電球一〇〇	個	〇	五、〇〇〇
三式 一〇〇電球一〇〇	個	六一五	二、〇〇〇
三式 五〇〇電球一〇〇	個	五一〇	二、〇〇〇
三式 一〇〇電球一〇〇	個	一七〇	二、〇〇〇
三式 一五〇電球一〇〇	個	六三〇	二、〇〇〇

海軍

0237

海軍

日次	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍
1000	水	文												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1100	五	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二

0238

海軍

U Y	三六	●	○	一〇〇〇	
U Y	三七	●	○	一〇〇〇	
U Y	三八	●	○	一〇〇〇	
U Y	三九	●	○	一〇〇〇	
U Y	四〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	四一	●	○	一〇〇〇	
U Y	四二	●	○	一〇〇〇	
U Y	四三	●	○	一〇〇〇	
U Y	四四	●	○	一〇〇〇	
U Y	四五	●	○	一〇〇〇	
U Y	四六	●	○	一〇〇〇	
U Y	四七	●	○	一〇〇〇	
U Y	四八	●	○	一〇〇〇	
U Y	四九	●	○	一〇〇〇	
U Y	五〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	五一	●	○	一〇〇〇	
U Y	五二	●	○	一〇〇〇	
U Y	五三	●	○	一〇〇〇	
U Y	五四	●	○	一〇〇〇	
U Y	五五	●	○	一〇〇〇	
U Y	五六	●	○	一〇〇〇	
U Y	五七	●	○	一〇〇〇	
U Y	五八	●	○	一〇〇〇	
U Y	五九	●	○	一〇〇〇	
U Y	六〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	六一	●	○	一〇〇〇	
U Y	六二	●	○	一〇〇〇	
U Y	六三	●	○	一〇〇〇	
U Y	六四	●	○	一〇〇〇	
U Y	六五	●	○	一〇〇〇	
U Y	六六	●	○	一〇〇〇	
U Y	六七	●	○	一〇〇〇	
U Y	六八	●	○	一〇〇〇	
U Y	六九	●	○	一〇〇〇	
U Y	七〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	七一	●	○	一〇〇〇	
U Y	七二	●	○	一〇〇〇	
U Y	七三	●	○	一〇〇〇	
U Y	七四	●	○	一〇〇〇	
U Y	七五	●	○	一〇〇〇	
U Y	七六	●	○	一〇〇〇	
U Y	七七	●	○	一〇〇〇	
U Y	七八	●	○	一〇〇〇	
U Y	七九	●	○	一〇〇〇	
U Y	八〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	八一	●	○	一〇〇〇	
U Y	八二	●	○	一〇〇〇	
U Y	八三	●	○	一〇〇〇	
U Y	八四	●	○	一〇〇〇	
U Y	八五	●	○	一〇〇〇	
U Y	八六	●	○	一〇〇〇	
U Y	八七	●	○	一〇〇〇	
U Y	八八	●	○	一〇〇〇	
U Y	八九	●	○	一〇〇〇	
U Y	九〇	●	○	一〇〇〇	
U Y	九一	●	○	一〇〇〇	
U Y	九二	●	○	一〇〇〇	
U Y	九三	●	○	一〇〇〇	
U Y	九四	●	○	一〇〇〇	
U Y	九五	●	○	一〇〇〇	
U Y	九六	●	○	一〇〇〇	
U Y	九七	●	○	一〇〇〇	
U Y	九八	●	○	一〇〇〇	
U Y	九九	●	○	一〇〇〇	
U Y	一〇〇	●	○	一〇〇〇	

0239

海
軍

U Y	U Y	U Y	U Y	U Y	U Y	U Y	U Y	U Y	U Y
八 一 六	八 一 四	八 一 三	一 四 七	八 〇 七	二 三 八	八 四	八 三	七 六	五 八
●	●	●	●	●	●	●	●	●	國
○	二 七	○	○	九 三	○	○	○	○	五
一 ○ ○	一 ○ ○	一 ○ ○	一 ○ ○	二 ○ ○	一 ○ ○	一 ○ ○	一 ○ ○	一 ○ ○	二 ○ ○

UT	UT	HX	KX	KX	UX	UX	UX	UX	UX	UX	UX	UX
六七	六七	九六六B	一二F	八〇	八六五	八〇一	二〇二A	二〇一A	一一二A	九九	五六	一二A
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
一七	〇	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

全	タムガールブー一五A	十一号号振電球	十一号号振電球	十一号号振電球	KY 八四	KX 五三	P 八六五	O 二〇二	UN 一五-B	SN 二〇五	SN 二〇四	SN 一四六	IX 八三
	ニA	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〇	〇	〇	〇	九〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

海
終
軍

防復需第二二八號

昭和二十一年四月五日

大阿地方復員局需品部

第二復員省目房

總務局 區 殿

在庫兵器ニ關スル件回答

總務局第三〇一一二番電米照自題ノ付別紙ノ通

(別紙添)

長官

總務部長

總務課長

廣務課長

課附



「終」

海軍

0243

兵器在庫調査 (四月一日現在)

品名	数	在库数	配
三式磁気維針機	組	三	
三式磁気維針機用	個	二	
三式磁気維針機用		二	
海水寒暖計		二	
大輪三杆分度儀		三〇	
喇叭		二五	
九九式短測波器		三	
電氣蠟円鏡		二	
八倍雙眼望遠鏡		六	
七倍稜鏡雙眼鏡		三	(一個名古屋陸上陸地連絡所供給豫定)
九六式六分儀改一		一	(三個掃海部方供給豫定)
毎日捲掛時計		一	

海軍

0244

海軍

十三號發振電球	P 二二〇	UX 八〇一	UU 八一四	T 三〇七	T 三一〇	發振電球 UY 八〇七	海圖用 三角定規	十型二十器入	三號蓄電池 三號	外部抵抗器	三號改一	充電器 一號
●	●	●	●	●	●	個	組	●	●	●	●	個
二	二	一	二七	一三〇	八五	九〇	二七六	七五	一〇	六	二	五

0245

海軍

•	•	•	•	機波電球	•	•	•	•	•	•	•	•	整流電球						
U	N	R	H	R	H	P	H	D	G	H	K	K	K	T	K	△	KY	K	△
一五二B	八	四	二	一	七六一A	九六六B	二五〇	二五一	六八六A	一五三	八四	一五四	四						
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	四						
四	三六	一五	二八	八三	一二四	四	一七五	四二	九	四〇	九〇	九							

0246

真空管												球				
SS	BG	UZ	UZ	UZ	UZ	UZ	UZ	UZ	UY	UY	UY	UX	UT	UN	球	
三 一 二 A	一 二 〇 G	七 五 A	六 三 〇 二	七 八	四 二	六 D 六	六 〇 六	六 A 三 B	五 六 A	三 八	一 一 B	六 F 七	九 五 五	個	球	
五	七	一 〇 〇	九	九	二 八	二	三 四	一 七 〇	一 八	五	二 四 九	一 七	一 七		球	
																球

海軍

0247

磁電管	眞空接斷器	比重計	ニ式ネオン電球	アルゴン電球	ニ式アイン電球	ビ式一燭電球	ニ式ニ〇W電球	ニ式ニ〇W電球	四〇V	六〇V	ニ〇〇V	三〇〇V
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
四	三〇	八	九	一五	四	一四〇	九	一五	七六	一〇七	二二	七

海軍

0248

海軍

「終」

●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
四〇▲	二五▲	三〇▲	二〇▲	一五▲	一〇▲	五▲	三▲	六〇W	電球二二〇V	式四〇W
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
五九〇	九三〇	九三〇	二〇	五八〇	一二〇	四一〇	五一五	一二五	二〇〇	個

0249

抄

昭和三十二年四月八日

昭和三十二年四月八日

大阪地方行政委員会 庶務部長

大阪地方漁業局 庶務部長殿

返還物資梯下、件照會

長官

總務部長

總務部員

課

課	名	數量	理	由	記事
掃海	掃海器具	三	掃海器具移動等、是非必要に付	軍需物資 第四種記載	
側溝	側溝器	四	高野川側溝掃海機、比河川水通伊勢川、側溝海面、掃海に際し、令部流失、現在在庫保管中、付		
蓄電池	蓄電池	五	現在在庫保管中、付		
手画	手画	一〇二五	手画、信有号少、又推役船、保有号等、ニテ兼負、身廻り整理、是、是非必要に付		

高野川と和歌山縣警署官保管中、左記物件、掃海業務遂行上、必要に付、手画、手配相成度、記

現狀調査、手画、整理、必要に付、記

第二復員

0250

復滑車	單滑車	提燈	打拔器	掌絡槌	上卷槌	鑄削	突擊	四爪錨	防煙具	洗濯桶	衣服函	釣床
三	三	三	二	五	五	七	五	一	一	二九	五二	二五
右 同	陸上基地に於て整備作業に於て是亦必要に付	所属雜役船艇に使用し爲	右 同	右 同	右 同	右 同	新造船艇に保有量少く保存整備に是亦必要に付	陸上基地に在庫保管に於て海面雜業に是亦必要に付	所属船艇及陸上基地保管に爲是亦必要に付	右 同	右 同	所属船艇に保有量少く又雜役船艇に保有量少くは未だ身廻り整備に爲是亦必要に付
												軍需品目録 第四項記載

海軍軍需品目録

第二復員

0251

船燈	ハツト	ハース	直尺	防火衣類	木槌	鵲鳴	傳聲器	防怪物	水樽	垢酌	爪羊	錫落槌
四	三	四	一	五	六	三	二	二	一	四	三	一八
所屬船艇に予備品少々有	右同	揚海要員、保便並に慰安、爲	船艇並に陸上基地船庫、爲	所屬船艇陸上基地保安上是非必要に付、	右同	陸上基地自衛上並に補充員、保便、爲農耕作業實施にシテ、 爲是非必要に付	揚海作業上必要に付	右同	右同	右同	所屬短艇に保便品少々有、是非必要に付	所屬船艇保便品、是非必要に付
												陸上基地 保便品 陸上基地

英蘭中葉十三行譯紙

第二復員

0252

汽灯	七	所属取扱・予備品等	軍需品目録 第四項記載
燈用硝子	七		
映寫器	一	掃海要顧慰安ノ為	
電線(巻)	二〇〇〇	電話用電線作成其他陸上其他軍需ノ為是外必要ノ存	
電線(巻)	二〇〇〇	在月 並ニ五式掃海具作成ノ為	
塗料(巻)	三〇	艇修用ノ付	軍需品目録 第四項記載
電圧機	一	取扱陸上其他軍需ノ為是外必要ノ付	
電流計	一		
カチーブ 星	一	在月	
少重電機	一	在月	
ワ ル	一三	現在掃海ノノ不潔耕作業ニ是非必要ノ付	軍需品目録 第四項記載
ス コ	一九	在月	
富送付先	大隈海軍大臣 大隈地方掃海支隊長		

英商華業十三行製紙

第二復員

0253

長官

總務部

總務部

庶務課

課附

大阪地方復員局事務部長殿
二二復員局 第三九一號

昭和二十一年四月十七日

向 舞鶴地方復員局總務部長
需品部長 殿

第二復員省總務局
第二復員大臣官房需品部長

昭和二十一年四月十七日

係ニ關スル件同答

三月二十二日附舞鶴第一四〇〇號ノ三八照會ニ依ル首尾ノ件糧食品ニ

關スル事項左記ノ通り知相成致

道テ本件ニ關シテハ茲ニ上京セル安武復員官ニ關シ説明済ナルモ今般

右書類ノ送付ヲ受ケ新ニ製成セル書類アルヲ以テ或メテ同答スルモノ

ニ有之

記

一 「ワグナ」中佐ノ見解(1)(2)ノ項夫ニ正當ニシテ本管ノ見解モ全然同

一ナリ

(1) 項ニ關スル件

本管ニ送附セラレタル物資ハ舞鶴留守局ニ於テ聯合員ニ引渡シタル

總復阪
21.4.30
接受

0254

協定ノミヲ指スモノト認メラル、斯ル協定ハ聯合ニヨリ日本政府ニ
返還セラレタル後ハ當然内務省ガ保管スベキモノニシテ他職ノ余地
無シ唯實際問題トシテ内務省ガ保管ノ手行届カズ警備部ニ於テ管理
中ナラバ其ノ旨詳説説明ノ上了解ヲ取付ケラレ度
茲ニ最モ注意スベキハ内務省ノ協定ト混同セシメザルニ在リ此ノ點ニ
關シテハ實質的ニモ形式的ニモ能ハズ能クナラシメ誤解ノ因ヲ作ラザ
ル期ク留意ノ長アリ

(四) 取ニ付スル件

特殊糧食ハ必シモ復興局ニ保管セララルベキモノニ非ズ聯合會ヨリ内
務省ニ返還セラレタルモノニ就テハ日本政府ニ送シ其ノ配分權ヲ附
與セラレアリ
特殊糧食ノ取扱ニ關シテハ一月九日附二復興局第七號及二月四日
附二復興局第一一〇一號ニ依リ各官宛照會セル通應理相成度本情
體ハ右書類ノ附屬文書タル昭和二十年十二月二十四日附内務省發給

第三六四號ニ明記セル遺政府ノ配分決定ニ基キ復員局ガ内務省ヨリ引渡ヲ受クルモノニシテ此ノ點確認セラレ度

丙 項ニ關スル件

(イ) 及(ロ) 項ニ於テ解レタルガ如ク内務省所屬物資ト復員局所屬物資ヲ常ニ明確ナラシムルヲ要ス
尙二復員局第七號ニ依リ取得セル物資ハ本項ニ記載セラレタル一
部ニ於テ内務省ガ正式ニ移管セルモノトニ該當スルコトヲ留意セラ
レ度

二 議案ニ關スル件

ハ ノ件

前述ノ遺政府配分決定ニ基キ内務省ヨリ引渡ヲ受ケルモノニシテ本
件ニ關シテハ他ノ各復員局ニ於テハ何等ノ支障モ生ゼズ取得中ナリ
其ノ他ノ物資ハ全部購買シアルモノニ付二復員局第七號ニ關シ總
司令部ノ證據ヲ受クルノ要無之

ロ ノ件

復員局ニ於テ今後必要トスル糧食全部ヲ確保シ置クコトハ不可能ナ

ルコトニシテ補給ニ支障無キ範圍ニ於テ逐次購買スル長アリ

三 結言

(1) 本問題ハ舞鶴食品部ニ於テ政府所屬糧食品ト舞品部所屬糧食品ト
ヲ同一倉庫ニ保管セル處ニ誤解ノ原因ヲ顯成シアルヤニ認メラルル
ヲ以テ糧スニ時日ヲ以テセバ了解ヲ取付ケ得ラル、核燃料セラルル
ニ付慎重善處局地的解決ヲ圖ラレ度

(2) 補給用糧食品ノ調達ニ關シテハ果次説明ノ通新ニ調達スル方針ニ
シテ在リ食品ニ就テハ一部ノ特殊糧食ヲ除キ之ニ依存シ非サルニ付
了知相願度

(3) 本問題處理上ノ參考文書左ノ通

(1) 糧食品調達ニ關スル件

(2) 昭和二十年十月二十四日夜糧打合會ニ於ケル三務者説明事項
覺書

(3) 昭和二十一年一月二十一日舞品部長會議ニ於ケル糧食關係主
務者説明覺書

口 在 品 處 理 ニ 關 ス ル 件

昭和二十一年三月十一日二復總務局第二三〇號 在 品 處 理 分 局 係 事

類 中

昭和二十年十月十日 二〇食糧一九二一號

同 年十月十八日 内務省發調第一七號

聯合軍ヨリ返還ヲ受ケタル食糧ノ處理ニ關スル件

昭和二十年十月二十五日 内務省發調第三九號

同 年十一月二日 内務省發調第五三號

(影)

寫送付先 各地方官員局 總務局長

同 官 部 長

0258

査閱
大田
林
校合
月
日發付

司長官
新
副官

審判官

副官

主務

月

日起案

宛
吳復總務部長

文書
昭和二十年四月十八日發

吳復
總務部長

引渡書
領收書
移牒
照會

有ニ海軍及糧廠
岡山支廠
首題
高岡宛
送付
來り
起
在
中
以
貴
向
以
送
付

移牒
致

副紙
添

岡山人本部長

送付書
要
中
一
下

附
送
書

阪
總
第
四
三
號

海
吳復
總務部長
中
野
一
道
給
付
書
取
得
書

西大 8 (大林納)

0259



昭和二十一年四月六日

第二海軍衣糧廠岡山支廠機務整頓員長

大阪地方復員局總務部長 殿

別紙軍需品領收書送付ノ件照會

精工廠關係保有軍需品ニシテ聯合軍ニ引渡済領收書全部御送付候條御査
收相成度

追而支取納ニ保有中ノ機械器具類ハ暗ノ對象物件トシテ有之ニ付本
品ノ事ハ未接收ニ付劃了知相成度

手書メモ
② 緑
6.19
26

「終」

(不三納)

海軍

0260

昭和二十年十二月二十五日

第二海軍衣糧廠岡山支廠

接收状況報告

月日	倉庫名	所	在	備考
一一一	岡山倉庫	郷窪郡庭瀬町		一部ノミ
一五	真庭	真庭郡(岡山土地倉庫)		
一六	久米商統	久米郡 町		
一七	津山	津山市(岡山土地倉庫)		
一七	今井三郎方	津山市坪井町		
一七	田倉庫	田那(岡山土地倉庫)		
一七	安藤助一方	津山市坪井町		
一七	鐘工勝間田工場	勝田郡勝間田町		
一七	中銀勝間田出張所	同 右		
一七	中銀林野支店	英田郡林野町		一部ノミ

海軍

(不二納)

0261

一〇、三九	御津商統倉庫	御津郡一宮村	一部ノミ
一〇、二八	竹村棉業株式会社	兒島郡 浦町下村	
一〇、二八	片上國民學校	和氣郡 上町	
二九	第一海軍衣糧廠岡山支廠	赤磐郡 瀬戸町	揚子倉庫ヲ
一一、一〇	新村棉業株式会社	岡山市上伊福	
一二、一〇	玉野商統倉庫	兒島郡 浦町下村	完了
一三	阿哲	玉野市藤井	
一四	上房	阿哲郡新見町	
一五	巨瀬製作所	高 町南町	
一五	濟生保育園	上房郡巨瀬村	
一五	吉備青年學校	川上郡成羽町	
一七	永島倉庫	吉備郡 社町	
一七	玉島	美作郡連島町	
一七	玉島	玉野郡	

(不三給)

0262

海軍

三、一七	三宅製作所	浅田郡富田村
"	神戸倉庫	倉敷市吾妻橋
一八	矢掛被服	小田郡矢掛町
"	秋田正平方	" 小田北
"	三和被服工場	井原町
"	中國銀行倉庫	"
"	井原興業株式会社	"
"	大塚被服	笠岡町
"	笠岡商統倉庫	小田南組合
一九	御津商統倉庫	金川町新町
"	花多公會堂	岡山市花
"	正織興業株式会社岡山工場	岡山市北方
"	備前興業株式会社	岡山市殿井
"	白石倉庫	庭瀬町

一部ノタ

海軍

(二務)

0263

〃	〃	〃	〃	一三、二四	〃	〃	〃	一三、二三
正織興株式会社茶屋町工場	白石倉庫	岡山被服加工株式会社	御津商統倉庫	佐藤儀一郎方	牛窓高女	邑久商統倉庫	鐘工西大寺工場	上道商組倉庫
茶屋町	庭瀬町	郡總那福田町	御津郡一宮村	早島町	〃 牛窓町	邑久郡邑久村尾張	〃	上道郡西大寺町
	完了							

「終」

(不二納)

呉地方復員局總務部長
宛
送
付
先
岡
山
人
事
部
長

阪復總第四二三號

昭和二十一年四月十八日

大區地方復員局總務部長

吳地方復員局總務部長 殿

引渡軍需品領收書移附ノ付照會

第二海軍衣糧廠前山支廠關係首題ノ件當附宛送付シ來リタル處本件ハ貴局ノ所掌ニツキ移牒致候

別

紙

添

別冊
保送品目及移管目録(未詳)

寫送付先 岡山人事部長

右正ニ領收候也

吳地方復員局總務部長



海

軍

(不二納)
21.5.0
按受

0265

大阪地方復讐局總務部

復讐第二九六號ノ三

昭和二十一年四月二十七日

四月廿七日送付

大阪地方復讐局總務部

復讐總 21.4.27 接受

長官

總務部長

警備部長

庶務部長

和歌山縣知事殿

接收車船油料渡ノ件依頼

ニ復員船隻ニ要スル船用物件ハ現下ノ情勢下ニ於テハ急送
ニ請達可成ニシテ且ツ新隊昇進ニ於テモ甚シク困難ト相成候處御海
防ニ際シテ保管セシモノニシテ目下和歌山縣警察官ニ於テ保管中ノ
ヨリ別紙ノ趣渡方御取計ヲ得候

(別紙) (添)

(終)

寫送付先 大阪地方復讐局總務部

海軍部伊波遣出長

海軍

0266

昭和二十一年四月廿七日
前送ノ旨

軍

ハ急送
ハ高油
ハ中ノ

21.4.27
接受

0266

昭和21年4月27日

大阪市東區北濱二丁目一九番（電話北濱〇五七七〇番）

大阪海軍軍需部

（四月十五日附）

機上送付ノ阪復備第二五三號ハ本紙
引換ニ御返送相煩置

大阪地方復興局備品部

7
送付ノ本紙
返却ニ付
4-27

西大1851

0267

映 寫 機	汽 灯	放 灯	直 式 信 號 灯	水 防 電 鐘	電 鐘	パ ツ ト	ペ ー ス	直 尺	防 火 衣	木 礎	編 織 帽	傳 聲 機	品 名
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	個	稱呼
													數
一	七	四	五	一	二	三	四	一	五	六	三	二	番
													記
													事
蓄 電 池	三 號 蓄 電 池 外 置 七 型	配 食 器	ス コ ツ ブ	ツ ル ハ シ	小 型 電 動 機	除 毒 劑	ゴ ム ノ リ	ゴ ム ア ー ゾ	電 壓 電 流 計	塗 料	機 用 電 線	電 線	品 名
・	・	・	・	・	個	斤	・	罐	個	罐	・	米	稱呼
						〓〓〓〓					二〇〇〇〇	二〇〇〇	數
二	四	二五	一九	一三	一		一	一	一	三〇	〇〇〇〇	〇〇〇	番
													記
													事

海軍

海軍省
軍務局
軍用物資
管理
簿

0268

索	上	綉	多	四	防	洗	衣	釣	手	番	滑	工	二
締	卷		孔	目	爐	滌	服			電		人	礎
機	機	刮	鐵	罫	具	桶	函	床	函	池	車	導	接
・	・	・	個	・	・	・	・	・	・	・	・	管	器
									一〇二五			米	個
二	五	七	九	一	一	二九	二五	二五		五	五	一〇	五
						防	水	垢	爪	錆	鏡	單	提
						枝				落	背	背	灯
						物	樽	酌	芋	健	車	車	灯
						・	・	・	・	・	・	・	個
						二	一	一	三	一八	三	三	三

海軍

0269



阪復總第220

總務部長(三)

需品部(五)

昭和二十一年五月四日

大阪地方復興局總務部長

長官

徳島縣知事 殿

部長

元海軍需品處理ニ關スル件照會

部長

島造船株式會社工場ニ採會依託中ノ元大阪海軍運輸部所有ニ
關シ左記物件、終戦前()月十日附一燃大阪海軍株式會社宛拂下
コトニ方針決定致シ、該候モ現品損シアル爲海運會社ニ於テハ之カ引

部長

熱意博ク現物ハ其ノ隨放置其ノ他拂下處理手續モ成任サレタル形

附

今日ニ及ビ候處今般德島造船株式會社ヨリ、連絡ニ依リ再認セテ
シテモ一燃此ノ權拂下處理打切リトナリ居ル實情ニ有之候條當方ニア

ハ拂下手續ハ不可能ナルニ付貴縣ノ特殊物件處理事務局ニ於テ返還軍
需品トシテ可然處理御取計相煩度

海軍

0270

記

ト 燒玉發動機關

一五馬力 二台

ロ 同

二〇馬力 五台

三 同

二五馬力 一台

計 八台

寫送付先

德島造船株式會社
大阪港運株式會社

(終)

海軍

0271

下段より復員局

長官

二復線務局第五〇一號

昭和二十一年五月二十四日

總務部長

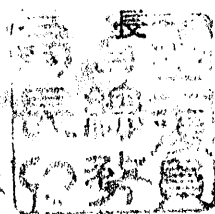


第二復員省總務局長

總務部員



各地方復員局總務部長 殿



庶務課長

課附

電信課長

返還真空管配分に關する件照會

諸題に關し別紙第一の通り遞信院通信資材調査部長より配分通知ありた
に就いては在厚遞信局の最寄地方復員局需品部に於て一括受領したる
別紙第二より各需品部に保管轉換のことに取訂はれたる

(別紙添)

(寫送付先 各地方復員局需品部長)

(終)



0272

別紙第一

遞資通第一五一號

昭和二十一年五月四日

逓信院

通信資材調査部長

第二復員省總務局長 殿

返還真空管配分の件

第一回返還真空管配分委員會の審議に基き貴局に係る聯合重より返還せ
らるる真空管の配分數量別紙の通り決定せられたるに付關係逓信局と總
絡の上受領相成度

0273

逓送真管配分通知書

(第二復員券)

昭和 年 月 日
逓信院逓信管配調査部

區 別 管 名	配 分 數	逓信局及逓信管理部別										
		札 幌	仙 臺	東 京	名 古 屋	大 阪	廣 島	松 山	熊 本	信 越	北 陸	
UX202A	100										100	
SN2050	185										185	
UY807A	150	150										
UV812	25					25						
UV814	50	29	21									
D 8655	30										30	
TX911	50										50	
HX968	250								250			
UT6A7	1500									1500		
UT6B7	10	10										
MO6F7	580	580										
UZ120												
UY365	20	20										
UY37	50	50										
UY37A	250			250								
UY38	55	55										
U242	50							50				
UY76	80	80										
U277	1700										1700	
U278	1640										1640	
P 220	5										5	
P 560	10										10	

0274

7230

返還真空管各需品部別配分數

種別	横須賀	呉	佐世保	舞鶴	大阪	大湊	計	在厚遊信局
UZ七八	二〇〇	五〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一六四〇	熊本
UZ七七	二〇〇	五〇〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一七〇〇	〃
UT六A七	二〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一五〇〇	松山
UY三八A	五	一〇	一〇	五		五	三〇	札幌
UY三七A	五〇	七〇	六〇	三〇	三〇	五	二五〇	東京
MO六A七 UY七六	一四〇	一五〇	一三〇	七〇		七〇	五〇	札幌
UY八〇七	三〇	四〇	四〇	四〇		一〇	一五〇	〃
P五六〇		二	五	三			一〇	熊本
UX二〇二A	一五	二〇	二〇	一五		一五	一〇〇	〃
〃八六五	五	一〇	六	三		三	三〇	〃
UV八一四	八	一五	二二	五		三	五〇	札幌
UV八一二	三	七	六	三		三	二五	大湊
EX九六八	四〇	六〇	五〇	四〇		三〇	二五〇	廣島
SN二〇五〇	三五	五〇	三五	二五		二〇	一八五	熊本
UY三六	六	七	七				二〇	札幌
UT六B七	三	四	三				一〇	〃
UY三七						五〇	五〇	〃
UZ四二	一〇	二〇	一〇	五		五	五〇	廣島
PN二〇		三	二				五	熊本
UZ九一一	一〇	一五	一五	五		五	五〇	〃

大臣復員局總務部長殿
二復總務局第四九九號

昭和二十一年五月二十三日

第二復員局總務局長

第二復員大臣官房需品部長

内務省調査部長殿
農林省食品局長殿

特殊糧食讓渡に関する件照會

昭和二十年十二月二十四日附内務省發調第三六四號通牒によつて機雷掃海艦艇及び特別輸送艦艇補給用として特殊物件中から各地方復員局需品部に引渡された乾燥醬油及び乾燥味噌は目下集荷中であるがその成績良好で余剰を生ずるやうになつたから左記の通農林省に返還致したいので讓渡先及び數量を至急通知されたい

215.27
0276

記

- 一 乾燥醬油 三〇〇屯 (五千萬人一日分)
- 二 乾燥味噌 七六〇屯 (七千六百萬一人一日分)

寫送付先

各地方復員局總務部長

各地方復員局產品部長

(終)

0277

大阪地方復員局總務部長殿

防復需第三九二號

昭和二十一年五月三十日

青井 日送付



大阪地方復員局總務部長

防復需海部紀伊派遣部長 殿

長官

總務部長

總務部長

庶務部長

課附

返還申請書並に該書並に引取ニ關スル件照會

五月二十七日防復需第二九六號ヲ以テ和歌山縣知事宛依頼セル首題

ノ件並にシテ別紙ノ通り回答ガアリマシタノア貴部ニ於テ地方事務所

ト連絡、受領、上納果ヲ通知シテ下サイ

追ッテ右物並に中買部ニテ利用ノモノハ受込ノ書類手續ヲ速カニトツ

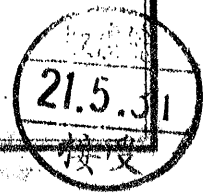
テ下サイ向殘部ハ當部ヘノ最近便ニテ送付ヲ得タイ

（別紙 添）

（終）

寫送付先 大阪地方復員局總務部長

海軍



0278



商第一九〇一號

昭和二十一年五月二十二日

和歌山縣知事

大阪地方復興局庶務部長 殿

返還 軍需品譲渡ノ事

客月二十七日付復讐第二九六號ヲ以テ備前軍需品譲渡片ニ付申請アリマシタガ別紙ノ如目取数ヲ破滅スルコトニ決定シマシタカラ關係地方事務所長ト連絡ノ上引取ラレタイ

海軍

0279

汽 灯	舷 灯	亞 式 信 號 灯	水 防 鐘	電 鐘	バ ツ ト	ベ ー ス	直 尺	防 火 衣	木 組	鋼 嘴	傳 聲 器	品 名
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	同	構 呼
七	四	五	一	二	三	四	一	五	六	三	二	数
水 傳	蓄 電 池	三 號 蓄 電 池 外 氣 主 燈	風 量 計	ス コ ッ プ	ツ ル ハ シ	小 坐 電 動 機	防 海 劑	ゴ ム ノ リ	ゴ ム ア ー プ	電 壓 兼 電 流 計	塗 料	品 名
・	・	・	・	・	・	同	社	・	同	同	同	構 呼
一	二	四	二 五	一 九	一 三	一	五 〇 〇	一	一	一	五 （ 船 底 塗 料 三 ）	数

海
軍

0280

海軍

四	防	洗	衣	釣	手	蓄	滑	コ	二	映
目	煙	滌	服			蓄		△	接	寫
鉢	具	備	函	鉢	函	池	車	管	斷	妙
・	・	・	・	・	・	・	・	米	・	函
一	一	二九	二五	二五	一〇二五	五	五	一〇	五	一
第	上	鏝	孔	垢	瓜	鏝	飯	車	提	功
掃	卷		穿			掃	桶	桶		駭
袖	礎	削	鐵	酌	半	餅	車	車	灯	物
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	函
二	五	七	九	一一	三	一八	三	三	三	二

0281